

# 茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成30年 8月

## 1 東京都中央卸売市場(平成30年1~7月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は約107万 t で、前年比約5%減、金額は約3,256億円で前年並みとなった。
- ② 茨城県産の入荷量は約13.5万 t で、前年比約4%減、金額は約357億円で前年比1%増となった。  
 (金額の内訳は、野菜294億円、果実62億円。前年同期比で野菜1%増、果実1%増、平年同期比で野菜6%増、果実7%増)  
 金額が【増加】した品目(前年対比)：こまつな(132%)、みず菜(122%)、ほうれんそう(113%)、いちご類(104%)  
 金額が【減少】した品目(前年対比)：レタス類(84%)、れんこん(92%)、メロン類(96%)
- ③ 茨城県の1~7月計の青果物入荷量は平年比1%減(シェア12.6%)、取扱金額は同6%増(シェア11.0%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~7月計)			
	1~7月計	年間計	年間比	1~7月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	H30	<b>1,070,110</b>		<b>135,270</b>	<b>←シェア(12.6%)</b>		12.6%	6.5%	3.7%	
	H29	1,125,346	1,994,086	56.4	140,528	236,414	59.4	13.0%	6.4%	3.5%
	(前年比)	95		96	シェア(12.5%)					
	平年値※	1,124,194	2,003,485	56.1	136,335	228,865	59.6			
	(平年比)	95		99	シェア(12.1%)					
金額	H30	<b>325,587</b>		<b>35,650</b>	<b>←シェア(10.9%)</b>		8.9%	3.0%	6.5%	
	H29	324,475	570,141	56.9	35,177	60,168	58.5	8.9%	3.6%	6.4%
	(前年比)	100		101	シェア(10.8%)					
	平年値※	314,484	553,898	56.8	33,618	56,083	59.9			
	(平年比)	104		106	シェア(10.7%)					

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成25~29年の5年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》

平成29年実績  
(1~12月計)

茨城県：金額シェア(10.6%)、数量シェア(11.9%)  
 千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(10.9%)  
 北海道：金額シェア(5.9%)、数量シェア(11.6%)

## 2 東京都中央卸売市場(平成30年7月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

( )内は前年対比

野菜類の入荷量は約12.9千トン(88%)、単価は306円(121%)、金額は約39.6億円(106%)  
 果実類の入荷量は約1.7千トン(106%)、単価は312円(119%)、金額は約5.2億円(126%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成25~29年同月の5か年平均値との比率

	品目	数量(t)			単価(円/kg)			金額(千円)				
		前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比			
野菜	ねぎ	2,188	102%	93%	93%	352	96%	95%	93%	771,173	98%	88%
	ピーマン	998	98%	91%	92%	454	145%	134%	131%	453,482	142%	122%
	とうもろこし	<u>1,633</u>	89%	92%	91%	211	128%	107%	110%	344,116	113%	99%
	ミニトマト	422	83%	92%	102%	608	147%	135%	117%	256,441	122%	124%
	<b>野菜類計</b>	<b>12,949</b>	<b>88%</b>	<b>89%</b>	<b>95%</b>	<b>306</b>	<b>121%</b>	<b>107%</b>	<b>108%</b>	<b>3,961,207</b>	<b>106%</b>	<b>95%</b>
果実	すいか類	872	86%	86%	91%	225	110%	146%	133%	196,339	94%	126%
	日本なし類	385	502%	338%	152%	451	69%	85%	96%	173,777	347%	287%
	<b>果実類計</b>	<b>1,658</b>	<b>106%</b>	<b>91%</b>	<b>91%</b>	<b>312</b>	<b>119%</b>	<b>143%</b>	<b>119%</b>	<b>517,793</b>	<b>126%</b>	<b>131%</b>

(野菜)

- ねぎ 高温干ばつの影響により肥大が鈍るなどしたため、本県産も数量の少なかった前年は上回るものの、平年比93%となった。しかし、需要も停滞したことから単価は伸び悩み、前年比・平年比ともに95%、金額も前年比98%、平年比88%と振るわなかった。
- ピーマン 夏季主産地である東北産地が梅雨の曇天の影響で出荷量が増えず、茨城県産も端境期で出荷量が減少し、市場入荷量は平年比93%にとどまった。需要に対する不足感から単価は前年比145%、平年比134%と上昇し、販売金額も前年・平年を上回った。
- とうもろこし 高温により生育は前進化しトンネル栽培ものは6月上中旬にピークを迎え、露地栽培は7月上旬がピークとなった。例年より出荷量が増える6月上中旬は価格が下がったが、その後一時端境となった影響もあり、6月下旬からは価格が回復した。前進化により7月中下旬は出荷量が減少し、単価高で推移した。

(果実類)

- すいか類 鳥取県など主力産地で交配時期の曇天の影響があり、6月以降出荷量が減少した。一方、例年より早い梅雨明けや高温により需要が高まり、前年・平年を上回る単価で推移した。
- 日本なし類 全国的にハウス栽培は例年並みの出荷開始であったが、関東を中心とした露地栽培の出荷が10日程度前進化し、九州産・関東産が出そろった結果となった。遅かった前年と比べ2倍以上、本県産も5倍以上の出荷量となり、単価は高単価の前年をかなり下回った。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出